

第 37 期 報 告 書

令和 4 年 4 月 1 日から
令和 5 年 3 月 31 日まで

事 業 報 告
貸 借 対 照 表
損 益 計 算 書
株 主 資 本 等 変 動 計 算 書
個 別 注 記 表

仙 台 交 通 株 式 会 社

事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1. 企業の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその成果

第37期における事業については、仙台市バス・地下鉄を利用するお客様へ、安全に安心して快適にご利用いただける環境を提供することを目的として、バス及び地下鉄の運行関連業務を継続したほか、仙台市の公共施設保守管理業務を行いました。

また、新型コロナウイルス感染拡大が続く中、社内における感染予防対策のための業務環境の改善を図ったほか、現場での災害対応力の強化を図るため、荒井車庫から富沢車庫への移転など関連する部署の集約化を進めました。

経営状況としては、売上高において、受託事業のうち自動車事業とサービス事業の受託額が前期を下回ったものの、高速事業と環境事業の受託額は、地下鉄東西線車両の検査数の増などにより売上高が前期を上回り、また、自主事業の不動産事業においても、駐車場の利用台数の増などにより前期の売上高を上回りました。

一方、売上原価については、各事業で若年層社員の給料月額の上昇等による人件費が増加したほか、不動産事業では土地評価額の見直しによる使用料の増額により、前期を上回りましたが、全ての事業で売上利益を計上することができました。

その結果、決算額としては売上高が14億3千8百26万円となり、これに係る売上原価13億1千2百60万円や一般管理費等を差し引いた営業利益が3千9百84万円、当期純利益は3千万円となりました。

(2) 対処すべき課題

当社では、仙台市交通事業のトータルサポート企業として、諸課題の解決を図り、昨今の内外環境の変化へ対応していくため、「持続可能な経営基盤の確立」、「高度な技術と知識の追求」及び「企業の社会的な責任の実践」の達成に向け、令和4年度から3か年を計画期間とする「中期経営計画2022」に取り組んでおります。

計画初年度である今年度は、社内に「経営計画推進会議」を立ち上げ、「組織・チーム全体の知識力・技術力の向上」、「地下鉄新型車両導入に伴う業務変化への対応」等の課題に取り組んできたほか、将来にわたる安定的な事業運営には欠かせない人材の確保・育成を大きな課題として捉え、対応を進めてまいりました。

今後も、リスク・マネジメントの基盤を充実しつつ、安全・安心と業務の効率化・品質向上を社員一人一人が常に意識しながら、本計画の着実な推進に努めてまいります。

(3) 財産及び損益の状況

期別 区分	第34期 令和2年3月期	第35期 令和3年3月期	第36期 令和4年3月期	第37期 令和5年3月期
売上高(千円)	1,375,350	1,392,538	1,411,147	1,438,263
経常利益(千円)	14,206	37,352	49,806	46,354
当期純利益(千円)	10,364	22,947	33,016	30,004
一株当たり当期純利益(円)	6,909	15,298	22,011	20,003
総資産(千円)	958,753	998,645	1,017,679	1,049,042
純資産(千円)	545,740	568,686	601,703	631,707

(4) 主要な事業内容

当社の主要な事業については、次に掲げる通りとなっております。

- ① 地下鉄関連施設及び車両の保守管理に関する事業
- ② 地下鉄関連施設及び地下鉄車両の清掃に関する事業
- ③ バス車両整備に関する事業
- ④ 乗車券販売等及び乗客サービスに関する事業
- ⑤ ビル設備の維持管理及びビル建物の清掃に関する事業
- ⑥ 不動産管理事業

(5) 主要な事業所

本 社 仙台市泉区

(6) 使用人の状況

使用人数	前期末比増減数	平均年齢	平均勤続年数
306名	1名減	53.6歳	12.10年

(注) 上記のほか、3名の臨時使用人がおります。

2. 会社の株式に関する事項

- (1) 会社が発行する株式の総数 4,000 株
- (2) 発行済み株式総数 1,500 株
- (3) 株主数 1 名
- (4) 発行済み株式の総数の 10 分の 1 以上の数の株式を保有する大株主

株主名	持株数
仙台市	1,500 株

3. 会社役員に関する事項

地 位	氏 名	他の法人等の代表状況等
代表取締役社長	森 研一郎	
専務取締役	佐藤 公彦	
専務取締役	高橋 篤	
取締役	氏家 宏	仙台市交通局 次長
取締役	平嶋 教義	仙台市交通局 総務部長
監査役	中島 大樹	仙台市交通局 財務課長
監査役	佐藤 哲之	日高見税理士法人 統括代表社員

(注)

1. 取締役氏家宏は、令和 4 年 3 月 30 日の臨時株主総会において新たに選任され、令和 4 年 4 月 1 日付けにて就任いたしました。
2. 取締役氏家宏及び取締役平嶋教義は、社外取締役であります。
3. 監査役中島大樹及び監査役佐藤哲之は、社外監査役であります。

4. 会社の体制および方針

取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他業務の適正を確保するための体制

(1) 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

取締役会規則に基づき、職務遂行に係る情報を文書で保管し、処務規程において保存期間等を定めております。

(2) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

リスク管理委員会を設置しリスク管理を行うとともに、不測の事態が発生した場合には事業継続計画（BCP）を発動し迅速な対応を行うことにより、損害の拡大を防止しこれを最小限に止める体制をとっております。

(3) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

取締役会に監査役が出席し、業務監査を実施しております。

(4) 使用人の職務の執行が法令及び定款に適合するための体制

社内規程に基づく職務権限及び意思決定ルール、コンプライアンスへの取り組みにより使用人の職務が法令及び定款に適合するための体制を確保しております。

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	648,782,178	流動負債	150,934,800
現金預金	441,823,583	未払金	47,073,037
売掛金	196,458,425	賞与引当金	58,410,000
預け金	25,000	預り金	5,861,113
未収入金	620,257	前受金	2,866,150
貸倒引当金	△1,182,000	未払法人税等	14,147,200
前渡金	9,488,000	未払消費税等	22,577,300
前払費用	1,548,913		
固定資産	400,259,619	固定負債	266,400,074
有形固定資産	14,791,827	退職給付引当金	263,725,974
建物付属設備	12,693,245	長期預り金	2,674,100
構築物	684,105		
機械装置	2		
車両運搬具	736,166		
工具器具備品	612,309		
一括償却資産	66,000		
無形固定資産	833,261		
電話加入権	655,200		
ソフトウェア	178,061		
投資その他の資産	384,634,531		
敷金	73,000		
保証金	30,000		
退職給与基金	258,105,764		
繰延税金資産	112,957,790		
出資金	13,467,977		
		負債合計	417,334,874
		純資産の部	
		株主資本	
		資本金	75,000,000
		利益剰余金	
		利益準備金	12,950,000
		その他利益剰余金	543,756,923
		退職給与積立金	35,734,000
		事業拡張積立金	405,144,000
		繰越利益剰余金	102,878,923
		利益剰余金合計	556,706,923
		株主資本合計	631,706,923
		純資産合計	631,706,923
資産合計	1,049,041,797	負債及び純資産合計	1,049,041,797

損 益 計 算 書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

売上高		
高速事業売上高	621,080,681	
環境事業売上高	292,055,291	
自動車事業売上高	286,000,000	
サービス事業売上高	193,148,000	
不動産事業売上高	43,109,283	
施設運営事業売上高	<u>2,869,840</u>	1,438,263,095
売上原価		
高速事業売上原価	528,587,105	
環境事業売上原価	280,883,713	
自動車事業売上原価	276,595,971	
サービス事業売上原価	184,691,763	
不動産事業売上原価	39,585,745	
施設運営事業売上原価	<u>2,257,351</u>	<u>1,312,601,648</u>
売上総利益		125,661,447
販売費及び一般管理費		<u>85,813,861</u>
営業利益		39,847,586
営業外収益		
受取利息	4,799	
代理店収入	1,165,642	
雑収入	<u>5,335,967</u>	<u>6,506,408</u>
経常利益		46,353,994
特別損失		
匿名組合投資損失	<u>1,306,742</u>	<u>1,306,742</u>
税引前当期純利益		45,047,252
法人税、住民税及び事業税	21,878,033	
法人税等調整額	<u>△6,834,898</u>	<u>15,043,135</u>
当期純利益		30,004,117

株主資本等変動計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

	株主資本							評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	利益剰余金					株主資本 合計		
		利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計			
			退職給与 積立金	事業拡張 積立金	繰越利益 剰余金			その他 有価証券 差額等	
当期首残高	75,000,000	12,950,000	35,734,000	405,144,000	72,874,806	526,702,806	601,702,806	601,702,806	
当期変動額									
事業拡張積立金の積立									
退職給与積立金の積立									
当期純利益					30,004,117	30,004,117	30,004,117	30,004,117	
株主資本以外の項目の 当期変動額									
当期変動額合計					30,004,117	30,004,117	30,004,117	30,004,117	
当期末残高	75,000,000	12,950,000	35,734,000	405,144,000	102,878,923	556,706,923	631,706,923	631,706,923	

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・・・・・・・・定額法・定率法

無形固定資産・・・・・・・・・・定額法

(2) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・・・・・・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、法人税法に基づく繰入限度額相当額を計上しております。

賞与引当金・・・・・・・・・・従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に負担すべき額を計上しております。

退職給付引当金・・・・・・・・・・従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。

(3) 収益及び費用の計上基準

高速事業売上高

高速事業売上高については、財又はサービスを顧客に移転する履行義務が充足した時点で収益を認識する方法を採用しております。

その他の事業売上高

その他の事業売上高については、契約期間にわたり均一のサービスを提供するものであるため、時の経過に応じて履行義務が充足されると判断し、役務を提供する期間にわたり収益を認識しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

①リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リースについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

②消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

72,177,451円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類および総数

普通株式 1,500株

4. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産の発生の主な原因別内訳

繰延税金資産（固定資産）

未払事業税 1,267,219円

賞与引当金繰入超過額 20,239,065円

退職給付引当金 91,381,049円

リサイクル預託金 70,457円

繰延税金資産（固定資産）小計 112,957,790円

繰延税金資産の純額 112,957,790円

(2) 法定実効税率・・・34.65%

5. リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産のほか、事務機器の一部については、リース契約により使用しております。

なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引は以下のとおりであります。

(借主側)

リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額

	取得価額相当額	減価償却累計額相当額	期末残高相当額
工具器具備品	3,555,700円	3,415,799円	139,901円

未経過リース料期末残高相当額

1年以内： 230,160円

1年超： 96,310円

合計： 326,470円

6. 1株当たりの情報に関する注記

1株当たりの純資産額 421,137円94銭

1株当たりの当期純利益 20,002円74銭

